

平成27年度  
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI  
(研究成果の社会還元・普及事業)  
実施報告書

HT27170 体感しよう！小さく生まれた子どもの命を救う・癒す・育てるケアのカー2015



開催日：平成27年8月29日(土)  
実施機関：公立大学法人山梨県立大学看護学部(実施場所) 池田キャンパス  
実施代表者：井上みゆき(所属・職名) (看護学部・教授)  
受講生：高校生23名  
関連URL：<http://www.yamanashi-ken.ac.jp/news/16068.html>

**【受講生に分かりやすく研究成果を伝えるために、また受講生が活発な活動をさせるためにプログラムを留意、工夫した点】**

実施場所を新生児集中治療室(以下、NICU)に見立て、保育器、コット、超低出生体重児や新生児のモデル人形、低出生体重児用の衣類を展示し、開講前に、実際にモデル人形に触れてもらった。さらに、NICUがイメージしやすいようDVDなどの映像を使用し新生児医療を説明したのちに、実際のNICUに入り、命を救う・癒す・育てるケアを体験した。

**【当日のスケジュール】**

時間 内容

- 9:00-9:30 受付 NICUの模擬体験
- 9:30-9:50 開講式 オリエンテーション スタッフ紹介 科研の成果講義
- 9:50-10:30 「新生児集中治療室で小さな赤ちゃんが育つ」講義
- 10:30-10:40 休憩 熱中症予防の水分補給 NICUまでは徒歩
- 10:40-11:30 参加者半数NICU見学 /NICUを卒業した子どもの成長講義
- 11:45-12:35 参加者半数NICU見学 /NICUを卒業した子どもの成長講義
- 12:50-14:00 ランチョンセミナー 自由な意見交換
- 14:00-14:30 人工呼吸・心臓マッサージの説明
- 14:30-15:00 人工呼吸・心臓マッサージの実習
- 15:00-15:30 日本学術振興会 科研の説明 学びの発表とまとめ
- 15:30-16:00 修了式 未来博士号授与 アンケート記入・回収

**【実施の様子】**

実施場所を新生児集中治療室(NICU)に見立て、新生児ケアを模擬体験しました。



保育器に手を入れて・・・ええ・・・こんなに温かいんだ！



小さな赤ちゃんを慎重に抱っこ

「科研の成果」講義  
実施責任者：井上みゆき



高校生に語りかけながら、理解を促すように講義をすすめました。

「新生児集中治療室で小さな赤ちゃんが育つ」講義  
山梨県立中央病院医師：根本篤先生



実際にNICUで着用しているユニホームとピッチを持って、臨場感あふれる講義でした。

「NICUを卒業した子どもの成長」講義  
吉川由美子さん



体重920gで誕生し高校生となったわが子の成長とその時の母としての気持ちを講義しました。

「NICU見学」



はじめて入るNICU、高校生は小さな命に感動していました。

<新生児モデル人形の人工呼吸、心臓マッサージの実習>



NICU看護師らによるデモンストレーションと新生児科医師の指導のもと実施しました。



<未来博士号授与>



**【事務局との協力体制】**

事務局には広報活動、参加申し込み、連絡調整等の対応していただき、実施者は企画内容の準備に専念することができた。

**【広報活動】**

山梨県立大学のホームページ、大学内のポスターの掲示、山梨県内の高校に本企画のプログラムを郵送した。広報活動後約1週間で満席となった。

**【安全配慮】**

参加者、実施協力者が保険に加入するとともに、受講生5-6人に対して一人の割合で大学生を配置した。猛暑日のため、熱中症予防に備え、飲料水等を講義開始前と昼食時、2回に分け配った。また受講生、実施者ともに自由にお茶等が飲める環境を整えた。

NICU見学に際して、感染予防のため高校生の健康状態のチェックを次のように実施した。

①予防接種の確認を母子手帳で実施した ②当日の体温測定と問診を看護師と医師で実施した。

**【今後の発展性・課題】**

受講者、受講者の保護者、実施協力者から、子どもの生命の尊さを知る有効なプログラムであるため、来年度も継続してほしいとの要望があった。また、広報活動後1週間以内で満席となり、参加できない高校生もいた。受講者数を増やしたいと考えているが、NICUには多くの人数が入ることができないため、今後の検討課題としたい。

**【実施分担者】**

宗村 弥生 山梨県立大学看護学部 准教授

**【実施協力者】**

11名

**【事務担当者】**

山中 詩穂 山梨県立大学 池田事務室・主事